



四国8の字ネットワークとともに

つながる、たかまる 地域のちから

Vol.2

えいネ! 高知東南部

コンセプト

【タイトル】

高知の「良い」という意味の方言「えいネ!」、
この冊子の素材となった高知東南部は「良いところ!」という趣旨、
地域づくりを進めていく熱意とかけ声としての「えい!」を掛け合わせています。

【デザイン】

ひとつひとつの異なる色を持つ地域の魅力とちからをつなぎ、
高めてゆくことを表現しています。

えいネ! 高知東南部編集委員会

問合せ先：国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所

〒780-0055 高知県高知市江陽町 2-2

TEL.088-884-0359

<https://www.skr.mlit.go.jp/tosakoku/information/eine/eine.html>

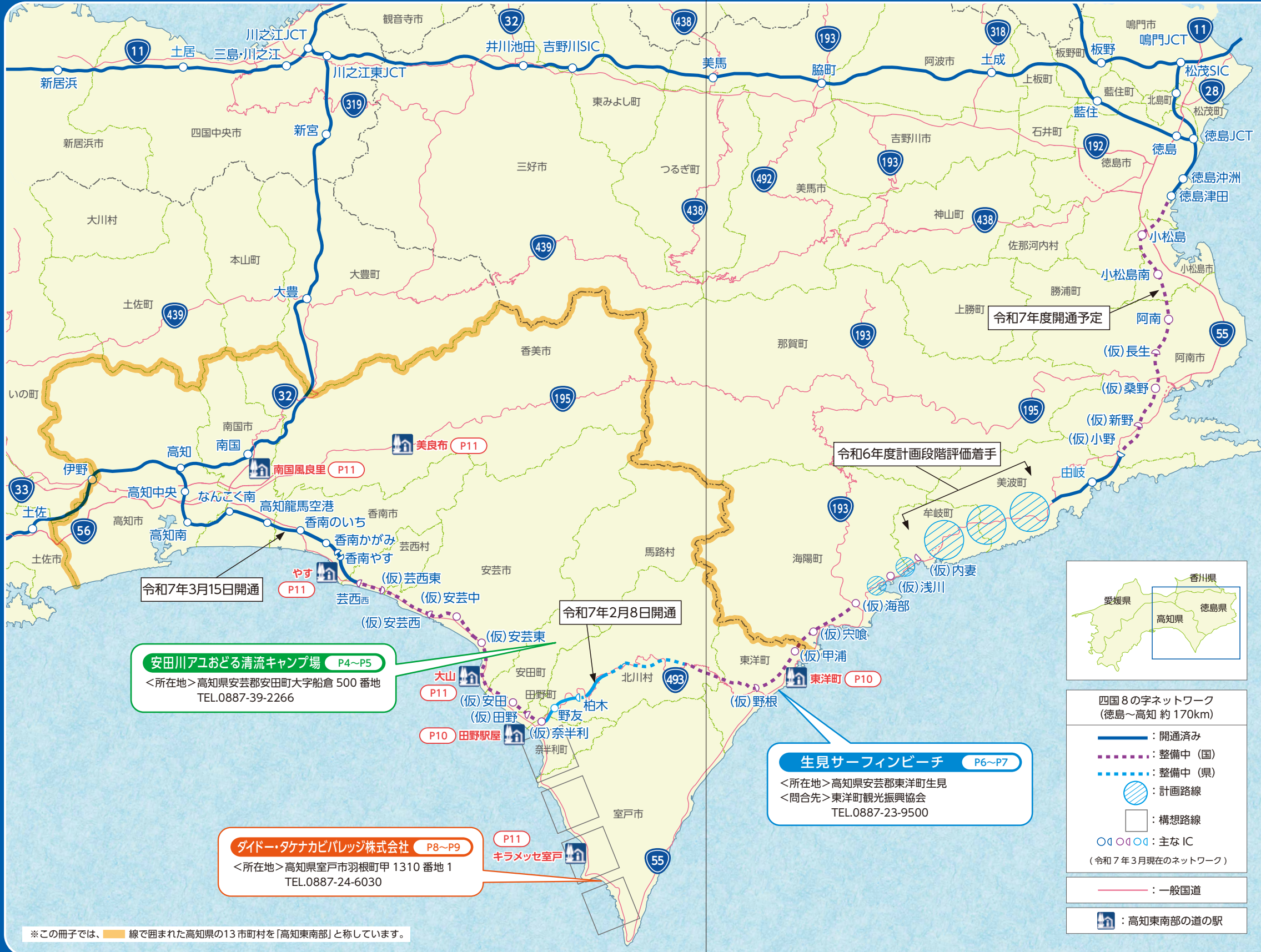


HP

2025年3月発行 1,000

高知東南部

道がつながり、人、産業、名産品が
つながり、ひろがり、魅力が伝わる



安田川アユおどる清流キャンプ場 P4~P5
 <所在地> 高知県安芸郡安田町大字船倉 500 番地
 TEL.0887-39-2266

令和7年2月8日開通

生見サーフィンビーチ P6~P7
 <所在地> 高知県安芸郡東洋町生見
 <問合せ先> 東洋町観光振興協会
 TEL.0887-23-9500

ダイドー・タケナカパレージ株式会社 P8~P9
 <所在地> 高知県室戸市羽根町甲 1310 番地 1
 TEL.0887-24-6030



- 四国8の字ネットワーク
 (徳島~高知 約170km)
- : 開通済み
 - - - : 整備中 (国)
 - ⋯ : 整備中 (県)
 - ⊘ : 計画路線
 - : 構想路線
 - ○ ○ ○ ○ : 主なIC
 (令和7年3月現在のネットワーク)
 - : 一般国道
 - 🏠 : 高知東南部の道の駅

*この冊子では、線でご囲まれた高知県の13市町村を「高知東南部」と称しています。

安田町
安田川
アユおどる清流
キャンプ場

豊かな自然と、工夫を楽しむキャンプを
全国から利用者が訪れる理由を、プロデュースした田中ケン氏に伺いました。



有限会社ダティーズオビニオン
代表取締役社長 田中 ケン 氏

キャンプに最高のまち
安田町の魅力

「安田川アユおどる清流キャンプ場」がリニューアルオープンして、2025年4月で5年目を迎えます。老朽化した施設を再生する計画の依頼を受けて安田町を訪れたとき、すぐに「ここはキャンプに最高のまち」と確信したことを覚えています。アユが生息する清流はもちろんのこと、地元のおいしい農産品や老舗酒

蔵の酒があり、その一方でコンビニエンスストアなどは近くにない。大げさに言えば、自然の恵み以外「なにもない」ということが最大の魅力だと思いました。

私は子どもの頃によく父に連れられ野外でBBQやトレッキングを楽しみました。東京に住んでいたのですが、都会のネオン街が遊び場でしたが、家族ができて今度は自分で本格的にキャンプを始め、とうとうアウトドアが仕事になりました。野外では普段あるものがないからおもしろい。それは「不便を楽しむ」とは少し違い、「工夫して楽しむ」ことに発見や達成感があるのだと思います。ですから昔のキャンプ場の不便さは改善し、トイレは洋式でシャワー棟もあり、蛇口からはお湯も出るという快適さは大切です。「安

利用者は全国から
リピーターも増加

現在は年間8千人ほどのお客様にご利用いただいています。そのうち6割の方が高知県内から、2割が四国の他県から、あとの2割は関東、関西、九州などです。ほとんどのお客様がオートキャンプなので、車にアウトドア用品を積んで来られます。瀬戸大橋から香川県を経由したり、大鳴門橋から徳島県を通ったり、九州は大部分の別府港から愛媛の八幡浜港までフェリーを使ったりと、ル



子供達でにぎわうツリーハウス

トはさまざま。将来的に四国8の字ネットワークが完成したら、よりアプローチしやすくなり、全国からお客様がみえると思います。今はSNSの影響が大きく、行ってみたいと思ったり、遠くからはるばる来てくださるし、リピーターの方も全体の2割に上ります。一度来たら、また来たいと思える魅力があるのだと思います。

道路整備がアウトドアを
楽しむ人の底辺を広げる

今回、南国安芸道路の35km区間が開通したことで、高知自動車道から芸西西1Cまでが一本につながったことは大きいです。途中で下道に下りることなく、高知自動車道から芸西西1Cまで約30分弱、その

後は国道55号で約30分、計1時間ほどで高知市内から来られます。

また、高知龍馬空港1Cがあることで、遠方から飛行機で高知を訪れる方にとっても便利になります。もし、「キャンプはまったく初めて」という方が空港から直行で来られても、「手ぶら」でキャンプを楽しめる道具のレンタルがあり、スタッフが使い方を教えます。高知の自然の魅力をアウトドアで満喫すれば、普通の観光とはひと味違った思い出ができるはずです。

私はアウトドアを生業としたとき、自分を育て、楽しませてくれたアウトドアに恩返しをしたいという想いがありました。自分にできることは何だろうと考えたとき、アウトドアのベースはやはりキャンプなので、キャンプ場のプロデュースを通じて、アウトドアを楽しむ人の底辺を広げていこうと思いました。

キャンプ場のスタッフは、「管理人ではないけない」というのが私の持論です。自分自身がアウトドアマンであってこそ、野外でのさまざまな



施設マップ

遊びや、自然とのふれあいを提案できると考えています。そういう体験をきっかけに、アウトドアがますますなくてはならない豊かな時間になっていくのではないのでしょうか。高知東南部はキャンプ場がたくさんあり、アウトドアに最高のエリアです。四国8の字ネットワークをはじめめとする道路整備の進行とともに、キャンプ場を訪れる人が増え、より多くの人にアウトドアの楽しみを届けられることを願っています。

安田川アユおどる清流キャンプ場 <所在地>高知県安芸郡安田町大字船倉 500 番地 TEL.0887-39-2266



アユおどる安田川に
隣接する

東洋町
生見
サーフィン
ビーチ

波と共に「地域再生」の道を歩み続ける

「四国8の字ネットワーク」の整備で多くの来訪者が期待される生見サーフィンビーチ。東洋町出身で世界で活躍してきた元プロサーファー谷口絵里菜氏にお話しを伺いました。



元プロサーファー / 東洋町 観光振興協会理事 / 高知県観光大使
谷口 絵里菜 氏

サーフィン人生が紡ぐ、
地域活性化への道

私が生まれ育ったのは、徳島県と接する高知県の東洋町です。「サーファーの聖地」とも呼ばれる生見海岸が子ども時代の遊び場で、海を愛する父と共に釣りや素潜りを楽しむ毎日を過ごしていました。小学1年生で双子の姉と共にボディーボードを始め、3年生になる頃にはサーフィンに夢中になっていました。

競技としてのサーフィンを意識して、本格的な練習を始めたのは中学生になってからです。15歳の時には、第29回全日本サーフィン選手権大会（レディース）で優勝しました。プロとしてのデビューは1999年、20歳の時です。日本プロサーフィン連盟（JPSA）のプロ資格を取得後に国内外のツアーへ参戦。2007年、2009年にはJPSAの年間グランドチャンピオンを獲得しました。その後も上位のランクインを続けてきましたが、2015年に開催された大会で優勝を手にしたあと、36歳で現役を退きました。

右膝の靭帯を怪我していたこともありましたが、もう一つ気になっていたのは祖母が経営する民宿「谷口」の今後についてです。私の幼少期には祖父母が切り盛りしていた思い出

の場所。サーフィンの競技活動を終えたあとは、自分も一緒に手伝いたいと考えていました。現在は選手時代から続けてきた審判員としての活動、東洋町の観光振興協会理事、高知県の観光大使など、サーフィン業界との深いつながりを保ちつつ、農家と民宿の仕事もしながら地域とのかかわりを深めています。

スポーツ・観光振興を
実現する、地域資源の利活用

民宿「谷口」の創業は1979年。生見海岸まで徒歩約3分の立地にあります。1970年代といえば日本でもサーフィンの認知度が高まり、第一次サーフィンブームの時期でもありました。

当時はまだ明石海峡大橋の開通前で、近畿圏からは神戸港と東洋町甲

浦港をむすぶフェリーが主要な交通手段でした。フェリーからは、サーフィンを目的に訪れた多くの宿泊予約客が降りるため、祖父は朝の4時半に大型のワンボックスカーで送迎していました。客層は10代から30代と若く、活気と賑わいに満ちた様子が幼少期の私の目にも焼き付いています。

1998年には明石海峡大橋が開通し、自動車で生見海岸を訪れる観光客が増えました。サーファーに関しては車中泊をする人たちが増加し、宿泊客の減少も目立ち始めるように。ブームの落ち着きも重なり、今ではサーフィンを楽しむ人たちの年齢も30代から50代が中心です。

この状況を改善するため、2023年から地元のサーフィン仲間と協力して始めたのが、小中学生向けのサーフィン体験授業です。子どもたちにサーフィンの魅力を感じてもらうことが目的で、年に4〜5回ほど体験授業を開催。裾野を広げる活動に取り組んでいます。

また、東洋町には白浜海水浴場や

釣りなどのアクティビティが楽しめる野根川といった重要な観光資源もあります。これらを最大限に活用できれば、サーフィン以外の方法でも地域を盛り上げ、交流人口を増やすこともできるはず。今は観光振興協会理事として、そのようなことも考えています。

地域の未来を開く道路整備、
官民一体の取り組みへ

地域の革新的な変化をもたらさずともとして、もう一つ期待されるのが四国8の字ネットワークの整備です。高知県の西部にある四万十市の海岸線には、生見海岸と同様に魅力的なサーフポイントが点在しています。四国8の字ネットワークが完成すれば、東洋町から四万十市までの移動時間が大幅に短縮されるため、波を追いかけて移動するサーファーにはうれしい知らせです。もちろん観光客にとっても、名所や見どころを巡る上での欠かせない手段となるでしょう。

また、地域が抱える課題の解決も

期待できます。すでに顕在化している問題の一つに大病院へのアクセスがあります。地域の高齢者からは改善の声も多く、高齢化がさらに進む現状を考えると今後の必要かつ重要なインフラの一つであることは言うまでもありません。加えて、南海トラフ地震が発生した際には物資輸送路としても大きな役割を果たすはず。四国8の字ネットワークの開通は地域にとって大きなチャンスであり、また官民が真に連携することで地域のさまざまな課題を解決できる可能性があります。地域の飛躍のきっかけとなる今後の道路事業の推進には大きな期待を寄せています。



「ジュニアオープンサーフィン選手権大会」の表彰式。現在も生見サーフィンビーチでは多くの大会が開催されている。写真提供：NSA

民宿たにくち <所在地> 高知県安芸郡東洋町生見 9-4 TEL.0887-29-3417
生見サーフィンビーチ <所在地> 東洋町観光振興協会 TEL.0887-23-9500



民宿たにくち 東洋町観光振興協会



室戸市
ダイドー・
タケナカビバレッジ
株式会社

地域資源活用による事業拡大と未来に向けた次なる成長戦略

室戸海洋深層水を起点に全国流通を果たし、さらなる成長を目指す飲料水ブランド。道路インフラの整備が重要なカギを握ると考える竹中浩貢氏に伺いました。



ダイドー・タケナカビバレッジ株式会社
 代表取締役社長 竹中 浩貢 氏

室戸海洋深層水を活用したブランド開発に成功

ダイドー・タケナカビバレッジ株式会社は、室戸の誇る資源である「室戸海洋深層水」や室戸海洋深層水由来の「にがり」を用いた飲料水など、ダイドードリンコのミウシリーズを主軸に製造する会社です。

室戸の海洋深層水の調査が始まったのが昭和60年、取水の開始は平成元年のことでした。当社の現会長で

ある私の父が、有志と共に室戸海洋深層水を使った事業を興して飲料水の開発・製造・販売を始めると、その数年後には販路拡大を熱望するようになりました。目標実現に向けて大手企業との協業を検討した際、最初に強い関心を示し、社長自ら赴くなど一緒に検討してくれたのがダイドードリンコ株式会社でした。

新会社を設立したのは平成12年。その2年後には本社工場が室戸市羽根町に完成しました。操業当初、主力商品として生まれたのが「ミウ」のスポーツドリンクです。海洋深層水には、豊富なミネラルを含む「栄養性」、年間を通じて温度が低く一定で水質の変化もない「低不安定性」、産業排水や生活排水などの影響をほとんど受けない「清浄性」などの特徴があります。ミウブランド

は初代のスポーツドリンクに始まり、現在までにミウシリーズとしてニアウォーターなど数多くの商品が誕生しました。

当工場では現在、機能性関与成分「クエン酸」を配合した「機能性表示食品ミウススポーツアップ」のほか、室戸海洋深層水由来のにがりを用いたタケナカグループの自社ブランド商品「室戸301バランスウォーター」を主に製造しています。

直面する課題、販路拡大に向けた新たな挑戦へ

室戸海洋深層水やその由来成分を使用した商品は、ダイドードリンコの販売網を通じて売れ続け、創業から20年以上にわたり事業を継続してきました。しかし、飲料業界を取り巻く環境は厳しさを増しています。

当社に関しても、原材料や物価、2024年問題に紐づく輸送費の高騰が続いていることから、新たな事業戦略を描く必要性に迫られています。

そこで我々は、ダイドードリンコ専用の製造工場という立ち位置を見直し、より柔軟な事業展開を模索することにしました。採用にも力を入れ、飲料業界に詳しく人脈も豊富な人材を雇用することで営業力の強化も図りました。現在は全国に向けた新たな販路開拓に注力しています。

今後の営業活動が実を結べば、将来の展望として当社の製造拠点を増やすことも視野に入ってくるでしょう。

また、現時点では室戸海洋深層水を除く原料や資材などのほとんどが県外からの仕入となっており、そのためコスト構造の最適化と利益率の向上も検討しなければなりません。商品の輸配送も、本社工場のある室戸市から土佐市にある協力会社の物流センターに一度送る必要があるため、こちらもかなりの時間的なコストがかかっています。

そこで鍵となるのが四国8の字

ネットワークの整備です。少なくとも、四国8の字ネットワークが開通すれば、室戸市から土佐市まで約2時間半かかっているのが30分から1時間は短縮できるでしょう。20トントラックが1日平均で20台、繁忙期には60台近くが走ることを考えると、コスト面での影響は大きく、当社事業の販路開拓、すなわち将来の経営に深く影響します。

「命の道」整備がもたらす従業員の安全と事業継続性

道路インフラの整備は当社の事業課題を解決するだけでなく、従業員の命を守ることに直結すると考えています。高知県は山と海に囲まれており、平地が少ない特徴があります。南海トラフ巨大地震で土佐湾を津波が襲った場合、おそらく海岸線を走る国道55号線などは壊滅的な被害に見舞われる可能性が高いでしょう。

当社の本社工場で働く従業員はもちろん、周辺住民の方々も津波や土砂災害から逃れるための避難経路を確保することが大切です。すでに高

規格道路が完成している地域では、津波浸水予想範囲を超える高台としての役割を持つ機能があると聞いています。四国8の字ネットワークが完成すれば救助活動や物資輸送にも貢献し、緊急輸送の根幹となるでしょう。

数年前、大型台風に見舞われた際には越波による道路通行止めにより、工場からどこにも行けなくなったことがあります。災害は身近なものであり、同じようなことが再び起こる可能性は十分にあります。今後も防災意識を高めつつ、道路の整備状況も見据えた事業展開で経済的な側面からも従業員の家族を守るようにしたい。そのため、努力を今後も続けていきたいと思います。



充填室



調合タンク





四国8の字ネットワーク整備でさらにつながる、ひろがる、高知東南部の道の駅

豊かな自然に育まれた、高知東南部ならではの名物、名産でいっぱいです

32 南国風良里

なんこく ぶらり



「南国風良里」は、高知自動車道・南国 IC を降りてすぐ、高知東南部へ向かう玄関口にあり。地鶏を使用したラーメンがあるレストラン、旬の野菜や特産の四方竹加工品があります。



道の駅オリジナルしょうがちゃんの「ごめんしょうがパイ」

55 キラメッセ室戸

むろと



「キラメッセ室戸」は、室戸岬の西方にあり、室戸岬観光の拠点として利用でき、室戸の新鮮野菜やお魚が並ぶ「直販所楽市」、鯨料理を満喫できるレストラン「食遊 鯨の里」、土佐伝統のクジラ漁を学ぶ「鯨館」があります。



毎朝手作り！室戸フルーツや備長炭風味の「生ジェラート」

55 田野駅屋

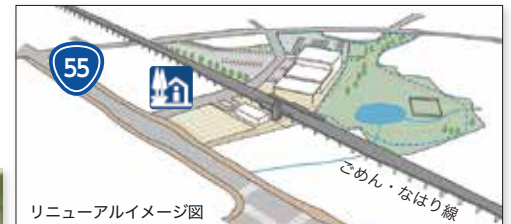
たのえきーや

四国8の字ネットワーク整備に向け
リニューアル調査を推進中



「田野駅屋」は、高知市～室戸市のほぼ中間地点で幹線道路の分岐点にあり、「ひとやすみスポット」として絶好の位置。また、「ごめん・なはり線」田野駅とも一体となっています。地元の名物「たまご寿司」「すりみ」「ホットサンド」と「完全天日塩」が人気。また、四国8の字ネットワークの一部をなす奈半利安芸道路（奈半利～安田）が令和6年度

に新規事業化され、(仮)田野 IC に近接する地の利を活かすため、リニューアル調査を実施中です。



リニューアルイメージ図



ふわふわボリュームたっぷり「たまご寿司」 地元鮮魚店特製「すりみ」



地元古民家喫茶店「ホットサンド」 ミネラル豊富な「完全天日塩」

55 やす

やす



「やす」は、県下一の規模の海水浴場公園「ヤ・シーパーク」や「ごめん・なはり線」夜須駅と一体となっており、「やすらぎ市」での買い物や食事のほかには海のイベント参加、遊びにも絶好です。



夜須特産「エメラルドメロン」のケーキ

55 大山

おおやま



「大山」は、だるま夕日や「恋人の聖地」で有名な大山岬にあり、令和6年2月にリニューアルオープンしたばかり。全国有数の生産量を誇るナスなどの野菜やスイーツもあります。



ふわふわもっちり食感！ユズ風味の「エンジェルケーキ」

55 東洋町

とうようちょう

白浜海水浴場に隣接するおなじみの
「海の駅」が「道の駅」に登録してパワーアップ！



「東洋町」は、高知県の徳島県境のまち東洋町にある白浜海水浴場に隣接した「海の駅」が令和6年8月に「道の駅」に登録されたものです。近くにはサーフポイントで有名な「生見サーフィンビーチ」(P.6-7)もあります。店内おきのマグロお刺身定食が人気。物販では全国生産量2位を誇る「ポンカン」をはじめとする東洋町の物産を販売しています。

駅長からのメッセージ

東洋町の道の駅として、町外のお客様に東洋町を知ってもらい、楽しんでもらうのはもちろんのこと、地元の方々の生活の拠点になりたいと考えています。道の駅で夕飯の材料が揃ったり、家族に送る旬の果物が手に入ったり、道の駅にいれば新鮮で良いものが揃うという場所になりたい、また、生産者にとっても道の駅に置くことで美味しい商品が沢山の人の手に渡り、経済も潤う、生産者の営業担当の立ち位置にも今後なっていきたい。高齢化が進む中で、生産者の商品を店舗内だけでなく他地域へ発信し売り出すことで、商品流通も活発化し、東洋町自体の認知度や商品へのファンが増え、道の駅がハブとなって東洋町が潤う仕組みを作っていきたい。高規格道路の開通によって、こういった商品流通の幅が広がり、今までネックだった都市部との距離や流通ルートの不足は改善されると思います。私たち道の駅が東洋町をPRできる幅も広がり、より沢山の人が東洋町を知ってもらい、東洋町を目的地にして訪れる人が増えていくと期待します。行動のハードルが下がるので集客やPR、移住の幅も広がると思います。

みかんより甘味がつよく全国でも有名な柑橘、
ポンカンを使った大人気商品。



ぼんかん ケンピ



ぼんかん 食パン



PONKAN BEER

四国「道の駅」スタンプラリー

高知東南部の道の駅巡りの際は、現在「道の駅連絡会」が実施している、「道の駅」スタンプラリーに参加しませんか？道の駅でスタンプ帳をお求めただけなら誰でも参加可能で、完全走破賞や敢闘賞があります。

＜問い合わせ先＞
連絡会事務局
TEL.087-813-1430



195 美良布

びらふ



「美良布」は、アンパンマンの作者やなせたかしさんの出身地近くにあり、「アンパンマンミュージアム」、「詩とメルヘン絵本館」が隣接しています。



高知県3大お米ブランドの一つ垂生米(にろうまい)の玄米生地で作った「巻きかかん」